

	一般的名称	報告の概要
299	ヨウ化プラリドキシム	日本臨床検査薬協会の統一プロトコールで各種血糖測定器を用いて行なわれたヨウ化プラリドキシムの血糖測定値に対する影響度の確認において、治療域と考えられる濃度範囲においても偽高値が認められた。
300	塩酸ミトキサントロン	多発性骨髄腫患者35例を対象とした高用量メルファレン+ミトキサントロン併用療法において、1例が敗血症により死亡した。
301	メトレキサート	再発性または難治性非ホジキンリンパ腫患者135例を対象として高用量維持療法(HDS)にリツキシマブ追加の有用性を検討したレトロスペクティブ調査において、HDS群で1例が膀胱癌により、R-HDS群で骨髄異形成症候群、甲状腺癌により2例が死亡した。
302	塩酸ミトキサントロン	Grade3-4のマントル細胞リンパ腫患者30例を対象としたフルダラビン/シクロホスファミド/ミトキサントロン/リツキシマブによる寛解後、90Y-Ibritumomab Tiuxetanによる強化療法を行なった試験において、1例が脳出血で死亡した。
303	ホスフェストロール	ジェチルステルバストールを母親の胎内で曝露された女性において、食道閉鎖症・気管食道ろうの子供が生まれる可能性が示唆された。
304	エストリオール	高齢女性へのホルモン補充療法は、心臓発作と脳卒中のリスクを高めることが示唆された。
305	ジアゼパム	小児遷延痙攣患者において、ジアゼパム直腸投与とミダゾラム経口投与の有効性、安全性を比較する中間解析のなかで、2人が呼吸抑制となり4人が死亡した。
306	塩酸ミトキサントロン	マントル細胞リンパ腫患者73例を対象として高齢者群と非高齢者群に分けてリツキシマブ追加の高用量連続化学療法(R-HDS)を検討したところ、非高齢者群で1例が治療中に骨髄異形成症候群により死亡した。
307	塩酸ミトキサントロン	ホルモン不応性前立腺癌患者63例を対象としたドセタキセル/ミトキサントロン併用療法のプロスペクティブ多施設Phase II試験において、1例がリステリア性髄膜炎、2例が心筋梗塞により死亡した。
308	リスベリドン	健康被験者32例で、リスベリドンの後発品の経口溶液とリスベリドン錠剤のバイオアベイラビリティを比較したところ、後発品および先発品の錠剤の間での生物学的同等性は証明されなかった。
309	リスベリドン	健康男性において、CYP3Aの誘導剤であるリファンピシンとリスベリドンを併用したところ、リスベリドンと9-ヒドロキシリスベリドンのAUC、Tmaxが低下した。
310	リスベリドン	統合失調症患者において、リスベリドンの投与によりQT間隔が延長することが示唆された。
311	ジクロフェナクナトリウム	結腸切除後の疼痛治療に対しジクロフェナクを使用すると、吻合部裂開の発現率が高まることが示唆された。
312	ブスルファン	HLA一致血縁ドナーによる同種幹細胞移植の患者70例を対象とした前向き試験において、可逆性血栓性血小板減少性紫斑病および溶血性尿毒症症候群が前処置としてブスルファン/シクロホスファミドを用いた群が、FTBI/VP-16群、Flu/Mel群よりも発症頻度が高かった。
313	ブスルファン	造血幹細胞移植患者60例を対象とした前処置として静注ブスルファンを1日4回投与群と1日1回投与群を比較した無作為化比較試験において、両群に肝中心静脈症が両群に認められた。